



## 拓伸会創業 70 周年記念式典

6 月①のごあいさつ

山内公認会計士事務所

2023 年 6 月 1 日(木)

### 第一、第二、第三、第四の製鐵工場

私は、拓南製鐵の創業者古波津清昇氏の書かれた“鐵の道”という著書を読ませていただきました。そして、三つの製鐵工場のことについて感じたことを述べさせていただきます。

今から 62 年前、**第一の工場**は、拓南製鐵の創業の地、那覇市の“壺川工場”が始まりです。この壺川の電炉工場で、**沖縄の歴史上最初の鐵が生産**されました。

鐵の生産と同時に“**拓鐵興琉**”という社是、**企業理念**が生まれ、拓南製鐵の歴史が始まりました。

それから、17 年後(45 年前)、**第二の工場 “浦添工場”**がこの浦添市に建設されました。事業は拡大し、ライバルの共栄伸鉄を吸収し、**沖縄で唯一の製鐵工場**が実現し、拓南製鐵の事業は大きく発展することになりました。

この浦添工場の跡地には、今、私たちが 70 周年の記念式典を行っている“**国立劇場おきなわ**”が生まれております。

**第三の工場**は 1995 年(28 年前)に沖縄市海邦町に建設された“**中城工場**”です。当時の日本で最新の生産設備を装備した電炉工場が完成しました。

拓南製鐵の企業理念、“拓鐵興琉”にふさわしく、鉄を生産し、地域を振興して、事業を拡大する使命の下、新製品の開発と多様な鐵製品の生産を行っております。

その先を考えますと、拓南製鐵の八木社長や松井専務、知念専務、山内常務といつも話をしている 10 年後の中城工場の想像はできます。しかし、20 年後、いや 100 周年を迎える 30 年後の“**第四の工場**”は、今、会場に来られている新しい炎、若い世代のご活躍に心から期待いたしたいと思っております。